

平成 22 年 12 月 16 日

各 位

西日本シティ銀行  
財団法人福岡文化財団

## プロムナードコンサート 300 回記念事業の開催について

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）・福岡文化財団（理事長 四島 司）の運営により、毎月 1 回お昼の 12 時から、当行本店 1 階エントランスホールで開催している「プロムナードコンサート」は、“月に一度のお昼休みのコンサート”として親しまれ、本年 12 月で 300 回を迎えることになりました。

正式なコンサートホールではない銀行エントランスホールという場所で 25 年間に亘り継続できたのも、毎回楽しみにご来場下さったお客さま、地域の皆さまの温かい応援のおかげです。

そこで 300 回の節目にあたり、これまでの応援に感謝して 300 回記念事業を下記のとおり開催いたしますのでお知らせします。

## 記

## 1. 「プロムナードコンサート」とは

「プロムナードコンサート」の第 1 回目は、1986 年 1 月 20 日（月）に開催されました。これは、当行（旧福岡相互銀行）が本店営業部で“お客さま感謝デー”を開催するにあたり、そのアトラクションとして企画されました。当時、九大フィルハーモニーオーケストラのコンサートマスターの経験をもつ行員が在籍していたことから演奏会を企画し、彼を中心とした奏者により、バッハ、モーツァルト等の曲目で手作りのロビーコンサートを開催したことが始まりです。

当初は一回限りの予定でしたが、大変好評をいただいたため、博多駅周辺にお勤めの方などにお昼休みに楽しんでもらえるよう、月に一度のお昼休みのコンサートとして同年度（1985 年 6 月）に当行が設立した財団法人福岡文化財団が主催となり、場所を本店 1 階のエントランスホールとして継続して開催することにしました。

継続にあたっては、プロのレベルが必要とのことで、第 1 ヴァイオリンを八尋祐子氏に、ヴィオラ、チェロを九州交響楽団員に依頼し、当該行員も団員とする常設の弦楽四重奏団「福岡ハイドン弦楽四重奏団」を結成いただき、以降 25 年間に亘って演奏していただいています。

## 2. 「第 300 回ユニセフチャリティ・プロムナードコンサート」(定期開催分)

日 時	2010 年 12 月 24 日（金） 12:00～13:00
場 所	西日本シティ銀行 本店 1 階エントランスホール（入場無料）
演 奏 者	福岡ハイドン弦楽四重奏団
曲 目	ハイドン作曲 弦楽四重奏曲第 1 番変ロ長調 Op.1-1 Hob. -1 シューベルト作曲 弦楽四重奏曲第 14 番二短調 D.810「死と乙女」

## 3. 「プロムナードコンサート 300 回記念特別コンサート」(記念開催分)

日 時	2011 年 3 月 16 日（水）18:30～20:30
場 所	あいれふホール（入場無料、要事前申込）
内 容 （ 予 定 ）	第 1 部：座談会 ～（仮題）「クラシックの楽しみ方」「音楽によるまちづくり」 予定パネリスト：大山平一郎（指揮者）、四島司（福岡文化財団理事長）
詳細は決定 次第お知らせ します。	第 2 部：演奏会 ～ 演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団 曲 目：ハイドン作曲 弦楽四重奏曲第 82 番へ長調 Op.18-1 メンデルスゾーン作曲 弦楽四重奏曲第 2 番イ短調 Op.13

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
福岡文化財団 清家 TEL092-473-6777

## 福岡ハイドン弦楽四重奏団プロフィール

1986年に(財)福岡文化財団、福岡相互銀行(現西日本シティ銀行)の後援を得て結成される。西日本シティ銀行のエントランスホールで毎月1回の定期演奏会「プロムナードコンサート」を行い、2010年12月で25年、300回を迎える。レパートリーは、ハイドンからショスタコーヴィチにおよび、日本ではじめてハイドンの弦楽四重奏曲の全曲演奏を達成。その他モーツァルト、ベートーヴェン、シューマン、メンデルスゾーン、ブラームスの弦楽四重奏全曲を演奏しており、福岡で唯一の常設の弦楽四重奏団として活動している。また、地域貢献活動として、2005年より、子供達に音楽の楽しさを教える試み「ふれあいライブ」(福岡文化財団主催)に参加。福岡市内の小学校への出張コンサートを毎年5~6校ずつ行っている。アマデウス、ヘンシェル、SAWAといった世界的な弦楽四重奏団とも共演し、好評を博した。1992年から1995年にかけて、世界的弦楽四重奏団、アマデウス・カルテットのメンバーであるN・ブレイン、S・ニッセル、M・ロベット各氏の指導を受ける。

### 1st Violin 八尋 祐子

国立音楽大学首席卒業。皇居桃華堂にて御前演奏を行う。

1974年、文化放送音楽賞を受賞する。

1976年には熊本ユースオーケストラのヨーロッパ演奏旅行にソリストとして同行。

1978年より1980年にかけて九州交響楽団に在籍。

1980年には熊本でリサイタルを行う。

1986年、福岡ハイドン弦楽四重奏団を結成。第1ヴァイオリン奏者をつとめる。

九州各地のオーケストラでの協奏曲の演奏、ソロ活動で活躍するかたわら、後進の指導にも力を入れている。ヴァイオリンを兎束龍夫、鷲見三郎、鷲見四郎、江藤俊哉の各氏に師事。

### 2nd Violin 李 軍 (ゲスト出演)

中国湖南省生まれ。国立武漢音楽学院ヴァイオリン専攻科に進む。

1990年中国青少年選抜ヴァイオリンコンクール青年の部第2位受賞。大学在学時、武漢室内楽団代表。

1991年国立武漢音楽学院ヴァイオリン専攻科を首席で卒業。中国広播交響楽団入団。香港音楽祭、マカオ音楽祭に参加。1995年来日、長崎市のNBCテレビにてデビュー、日本での演奏活動を開始。長崎県民文化祭、福岡市民芸術祭に参加するなど、ソロ、室内楽、オーケストラなど幅広く活動している。

また、福岡県より派遣され、中国江蘇省南京市にて地元のオーケストラとの交流演奏会を行うなど、日中友好に尽力している。九州交響楽団ヴァイオリン奏者。

### Viola 平石 謙二

東京芸術大学及び大学院を修了。この間、平井淳衛、祈貞夫、井上武雄、浅妻文樹の各氏に師事。在院中より東京シティフィルハーモニー交響楽団の首席ヴィオラ奏者を務める。

1979年、九州交響楽団入団。同年、西日本新人演奏会においてテレビ西日本賞を受賞。

1994年、大町陽一郎指揮の九州交響楽団とソリストとして共演。

1996年より福岡ハイドン弦楽四重奏団ヴィオラ奏者としての活動を始める。

現在、九州交響楽団首席ヴィオラ奏者。福岡アンサンブルFelice代表。

### Cello 本田 貴

作陽音楽大学専攻科卒業。1975年4月から2009年5月まで九州交響楽団団員。

1977年より1979年まで、福岡モーツァルトアンサンブルのチェロ奏者を務める。

1986年、福岡ハイドン弦楽四重奏団を結成し今にいたる。

1997年、久留米にてポッケリーニのチェロ協奏曲を演奏。

1998年、春日市にてリサイタルを開催、その演奏をライブCDとして制作。

2000年、デンマークへ室内楽による演奏旅行を行う。

九州一円での精力的な演奏活動の他、後進の指導にも力を注いでいる。チェロを奥村和弘、中島隆久、馬場省一、長明和昌の各氏に師事。